

プログラム名	日米近現代交流史プラス BMX
交流先大学	イエール大学
目的	T4 開講科目「日米近現代交流史」で身につけた知識を生かして、日本に関心を持つアメリカの大学生と COIL（国際オンライン協働学習）型授業を行い、日本研究の国際的現状や海外における日本史資料に対する理解を深める。
実施内容	「日米近現代交流史」で書いたレポートについて、Zoom ミーティングを使って同時双方向型授業を行った。千葉大の学生 3 人が自らのレポートについて英語で発表し、イエール大学の学生がそれに対するコメントや質問を行い、最後に全体討論を行うという形式を取った。
オンライン交流の形態	非同期 + 同期
オンライン交流の実施期間	2025 年 1 月 30 日（米国時間）・1 月 31 日（日本時間）の 1 回のみ（同時双方向型 COIL 授業）
実渡航の有無	なし
派遣期間	
参加人数	千葉大学：3 名、イエール大学：14 名
受講生の感想	イエール側の学生が積極的に参加してくれたので、自分のレポートに対して想像していたよりも多くのフィードバックを得ることができて良かった。相手のジェスチャーや表情が非常に豊かだった。自身の関心分野（日本のジャズ）と同様のテーマに興味を持って研究しているアメリカの学生に出会うことができて良かった。また、英語を使って口頭で発表したり質問に答える経験を通じて、自分の英語力がどこまで通じて、どこがまだ足りないかという点に気づくことができ、今後の具体的な目標設定につながった。
プログラムの良い点	リアルタイムで海外の学生と交流することができるのが一番の魅力だと思います。